

第2節. 都市の将来像

1. 都市づくりの目標

「都市づくりの目標」は、[21世紀出雲のグランドデザイン] に示された出雲市の将来都市像を実現するための、都市づくりの目標です。

[21世紀出雲のグランドデザイン] の将来像とともに、出雲市の現状や都市づくりの課題、社会情勢や市民意向等を踏まえ、以下のように設定します。

なお、目標の実現に当たっては、市民と行政がそれぞれの役割分担のもと、協力、協調しながらまちづくりを進める「市民と行政の協働」を基本として、まちづくりを進めるものとします。

◆ 機能分担と連携による、地域の特性を活かした都市づくり

市街地の歴史的変遷や地域固有の魅力を最大限に活かして、都市間・地域間の機能分担と連携を基本に適切な土地利用の規制・誘導を図り、“多様な産業が生み出す活力”と“地域に根付いた暮らし”の調和が取れた都市づくりを進めます。

◆ 中核都市にふさわしい活力ある都市づくり

中核都市にふさわしい産業や都市間・地域間の連携・交流を支える都市基盤や、市民の安全・快適な暮らしを支える道路や公園、下水道などの都市基盤が整った都市づくりを進めます。

◆ 出雲の多彩な魅力を活かした観光都市づくり

「出雲神話のふるさと」として、「出雲大社」をはじめとする多くの歴史的資産や美しい自然を守り活かすとともに、魅力を発信し、多くの人々が交流する都市づくりを進めます。

◆ 誰もが安心して暮せる都市づくり

全ての市民が安全に安心して住み続けられるよう自然災害に強い都市づくりを進めるとともに、医療・福祉機能の維持・充実をはじめ、バリアフリー化の推進など、子供から高齢者まで、誰もが安心して暮らせる都市づくりを進めます。

2. 将来都市構造

「将来都市構造」は、将来の都市の姿（空間イメージ）を分かりやすく示すものです。

本市の将来都市構造は、現在の都市構造と都市づくりの目標を勘案して、「都市拠点とその他の拠点」「都市の骨格」「土地利用ゾーン」で描きます。

〔都市拠点とその他の拠点〕

都市活動や産業、生活や交流などの中心となる役割を担い、土地利用の核となる場所を「都市拠点とその他の拠点」として位置づけます。

〔都市拠点〕	多様な都市機能が集積し、都市の中心となる市街地
・ 中核都市拠点	・ 広域的な都市拠点として、商業・業務、情報ビジネス、行政サービス、宿泊、都市型居住、医療・福祉、文化、高度教育等の様々な高次都市機能が集積し、西部日本海域の中心都市としての発展の中核となる市街地 ・ 出雲市駅周辺及びシンボルロード沿いは、商業・業務、行政サービス、医療・福祉、文化等の都市機能が帯状に集積する都市軸と位置づける
・ 東部都市拠点	・ 中核都市拠点に次ぐ都市拠点として、商業・業務、行政サービス、都市型居住、医療・福祉、観光機能等の都市機能がコンパクトに集積し、地域の生活をはじめ都市の発展を支える市街地
・ 観光都市拠点	・ 観光・文化・交流機能を核とした都市拠点として、市のシンボルである「出雲大社」と出雲大社門前町を活かした観光産業、文化、交流機能をはじめ、行政サービス、福祉機能等の都市機能が集積し、観光都市づくりの中核となる市街地

[その他の拠点]	都市拠点を補完し、都市の産業や発展を支える場所
・ 歴史・文化拠点 (西谷墳墓群周辺)	古代出雲の歴史文化を継承するとともに、広域的な観光交流機能を担う場所
・ スポーツ交流拠点 (浜山公園周辺)	出雲の伝統文化を伝承する観光交流機能を有するとともに、市民の憩いや広域的なスポーツ・交流、防災機能を担う中心となる場所
・ 交流拠点 (宍道湖西岸)	水辺空間とレジャー機能が集積する、広域的な観光・交流の中心となる場所
・ 観光・交流拠点 (立久恵峠、須佐)	水や緑豊かな自然の中で、絶景や歴史ある寺社と、温泉施設を有する、広域的な観光・交流の中心となる場所
・ 海洋レジャー拠点 (日御碕、多伎)	美しい海岸線を活かした保養・レジャー機能、観光商業機能等が集積する、広域的な観光・交流の中心となる場所
・ 交流拠点 (西出雲 駅南周辺)	都市基盤が整備され、良好な居住環境を有する戸建住宅と交流機能や健康・医療・福祉機能が集積する新市街地
・ 親水ふれあい拠点 (神西湖周辺)	親水性豊かな水辺空間を活かした市民の憩い・交流、自然教育、レジャー機能等が集積する、広域的な観光・交流の中心となる場所
・ 健康福祉拠点 (県立大学短期大学 部周辺)	健康・医療・福祉機能が集積し、市民の健康増進や福祉の向上を担う場所

〔都市の骨格〕

広域的な連携、市街地間・地域間・拠点間の連携をはかるとともに、都市の発展を支える道路や鉄道、本市の自然的骨格となる河川等を「都市の骨格」として位置づけます。

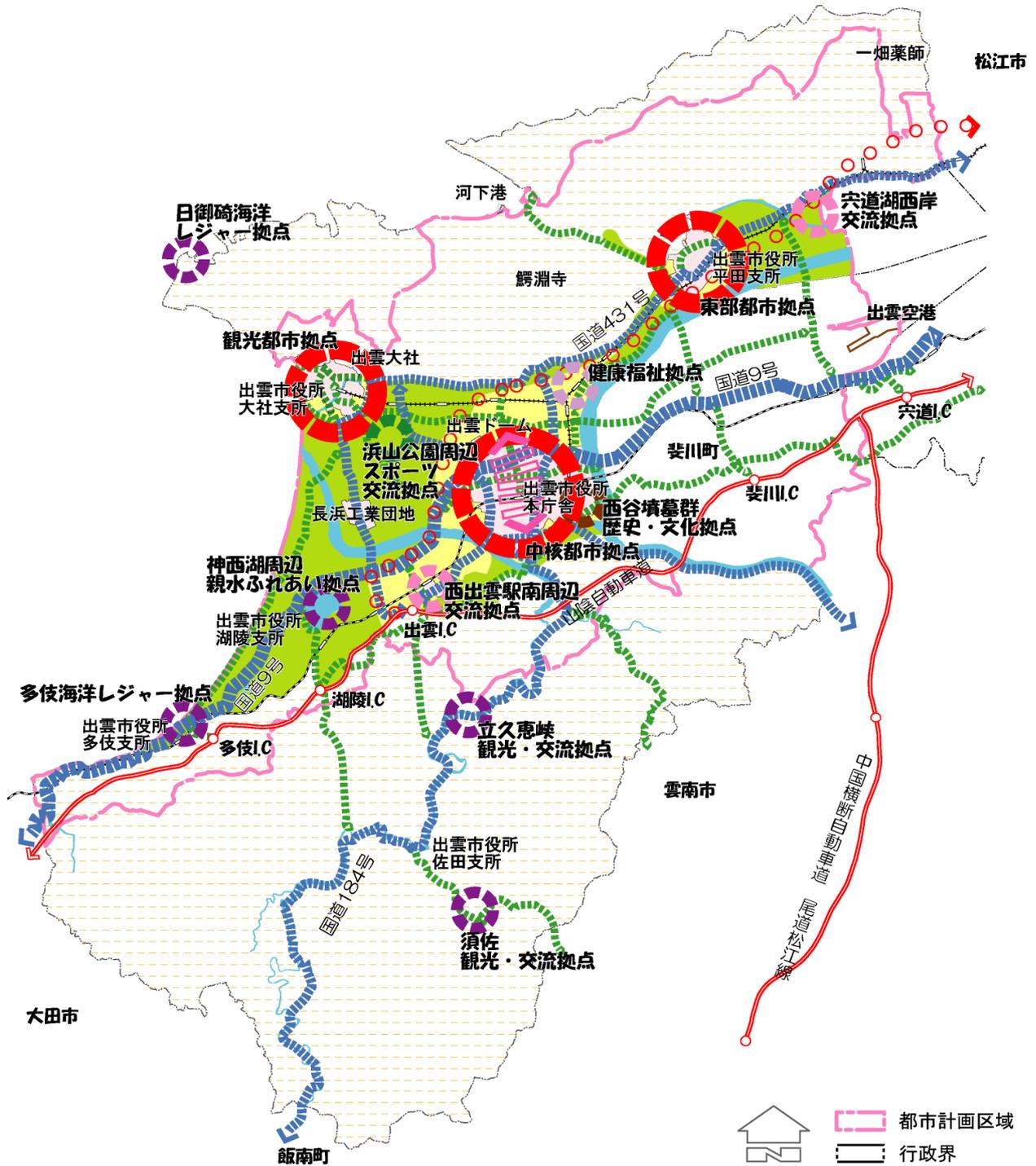
高速自動車国道	自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する高速自動車国道。広域的な交通連携機能や産業連携機能、観光・交流機能など様々な機能を担う道路。
地域高規格道路	高速自動車国道と一体となって、地域発展・育成や地域相互の交流促進等に資する道路。
主要幹線道路	中心市街地への通過交通を抑制するとともに、中心市街地と周辺市町との交通・産業・交流連携や市街地間・地域間・拠点間の連携機能など、様々な機能を担う道路
幹線道路	主要幹線道路を補完するとともに、都市機能の有機的な連携や都市における円滑な活動や都市の発展を支える骨格的な道路
鉄道	主に、通勤・通学等に利用される公共交通機関であるＪＲ西日本と一畑電車
河川	広がりのある河川空間を活かした、市民の憩い・交流、市街地の防災機能等を有する、市民等に潤いを与える河川及び河川沿いの空間

〔土地利用ゾーン〕

本市の基本的な土地利用を、「21世紀出雲のグランドデザイン」に基づいて、「市街地ゾーン」「周辺市街地ゾーン」「田園緑地ゾーン」「山間緑地ゾーン」として示します。

市街地ゾーン	道路や下水道等の都市基盤が整備され、住宅・商業・工業・公共サービスなどの都市的な土地利用の機能的配置を実現する、安全で快適な市街地（用途地域）
周辺市街地ゾーン	市街地周辺部において、田園環境の保全を基本として、都市的土地利用と自然的土地利用の調整により都市と自然が共生するゆとりある田園住宅地
田園緑地ゾーン	食料生産の場、水や緑、土とのふれあいの場、自然と農業を介した人々の交流の場となる、落ち着いた集落環境と生産性の高い営農環境を有する田園地 ゾーン内の各拠点地周辺は、計画的な土地利用の誘導により自然的土地利用と共存する拠点地
山間緑地ゾーン	多様な生き物の生息・生育の場としての機能、保水等、都市防災上の機能や市街地の背景となる景観機能、広大な森林を活用した保養機能等を有する山間部

将来都市構造図



凡例 【 都市拠点とその他の拠点 】

- 都市拠点
- 交流拠点
- 観光・交流拠点
- 都市軸

【 土地利用ゾーン 】

- 市街地ゾーン (用途地域)
- 周辺市街地ゾーン
- 田園緑地ゾーン
- 山間緑地ゾーン

【 都市の骨格 】

- 高速自動車国道
- 地域高規格道路
- 主要幹線道路
- 幹線道路
- 鉄道
- 河川